

平成20年度「立ち上がる農山漁村」選定事例概要書

◎取組分野：【食】

1. 都道府県、市町村 長崎県^{ごとうし}五島市
2. 団体名 五島こだわろ会
3. 取組みの名称 島内初の有人直売所で地産地消を推進
4. 取組概要等

◇概要

五島市の福江島では広い耕地と豊かな漁場に恵まれ、数多くの農水産物が生産されているものの、小規模経営農家の割合が高く、少量の農産物等の販売ルートがなかったため、安定した収入が得られる有人直売所の設置要望が多くの生産者からあった。

こうした中、福江市認定農業者会が中心となって他町（合併前の4町）の認定農業者会にも有人の直売所を設置しようと働きかけ、「直売所設立準備委員会」を発足、地域のリーダーである認定農業者、農産物加工グループや漁業者の代表者等に賛同を呼びかけ、平成16年11月「五島こだわろ会」を結成した。会では先進地での研修など施設の開設に向けた準備を進め、直売所を建設して地元産農産物の直売に取り組むこととした。そして平成17年3月、福江島内で初めての有人の農水産物直売所「いきいき五島」が開店し、地元農水産物の直売を開始した。

直売所の登録会員は約150組で、店内には地元の旬の野菜、農産加工品、水産加工品が約130品目揃えられている。販売は雇用している4人の従業員が行い、開店前に会員が商品を搬入・陳列し、売れ残った生鮮品は閉店後に回収するシステムとし、「生産者の顔が見える新鮮な農水産物の販売」をモットーとしており、会員は出荷者証を付けて入店することを義務付け、さらに、商品には生産者名、電話番号、バーコード等入りのラベルを貼付けており、商品に関する問い合わせに対応できる態勢をとっている。

また、農産物の需要の拡大を図るため、大口需要者との連携を進めており、平成17年度から市内の給食センターの要請に応じて、じゃがいも・たまねぎ・きゅうり等の野菜やみかん・びわ等の果物を納入している。

◇活動の規模

項目	H15	H16	H17	H18	H19
売り上げ			46,736	63,875	63,531
解説	単位：千円				
来客数			52,920	51,120	48,240
解説	単位：人				
雇用者数			4	4	4
解説	単位：人				
イベント回数			2	4	4
解説	単位：回				
イベント参加者			1,300	800	800
解説	単位：人				

項目	H15	H16	H17	H18	H19
生産者			120	180	210
解説	単位：人				

◇活用している地域資源

・野菜（にんじん、キャベツ、だいこん、きゅうり等）を中心に米、山菜類、水産物（ハマチ、ブリ、マダイ等）

◇地域活性化のポイント

直売所が開設した17年3月20日から平成20年8月末までの売上げは約2,500万円、来客者数は約24,000人となり、多くの消費者で賑わい交流が生まれている。

会員は、「少量のため自家用または贈答用としていたもの」が販売できるようになったことで所得の向上が図られるとともに、翌週には精算されるシステムであることから販売状況が直接現金収入に結びつくため、生産意欲が向上した。

一方、地域住民からは地元産の新鮮や農産物が安く購入できると好評であり、農・漁業者や農・水産業関係者からも生産者の販路が拡充したことで島内消費が拡大し、地産地消の推進が図られているとの評価を得ている。

◇事業の今後の展開方向

・直売所へ搬入できない生産者への対応については、直売所から出向いて集荷する等の体制づくりについて、検討していく。

消費者への宣伝活動や生産者に対するPRを強化し、消費者ニーズ（多種多品目）に対応できる出荷者（会員）の拡大を図っていきたい。

また、安定した販路を確立するため、地元飲食店やホテル、学校給食センター等との連携を進めていくとともに、安心・安全な農産物を提供するため、生産者情報および生産履歴等の公開にも取り組んでいきたい。

